

まごころ

with all our hearts

magokoro

Vol.

41

August
2008

▶ Customers Information お客様訪問レポート 1

株式会社 神明 常務取締役・品質管理部長 江川 茂 様

徹底した品質管理のもと、
安全で美味しい米を食卓へ

▶ Customers Information お客様訪問レポート 2

ブリヂストンリテール兵庫株式会社 代表取締役 岩見 和幸 様

安全・環境・快適な
カーライフを目指して

▶ Report 法律改正の現状と余波、そして今後は？

▶ Topic おかげさまで村上工務店創立60周年

- ▶ Information
- 東山コーポが生まれ変わりました
 - 大臣表彰を受ける



徹底した品質管理のもと、安全で美味しい米を食卓へ

株式会社 神明 常務取締役・品質管理部長 江川 茂 様



毎日、食べるお米。日本人の食生活が西洋化されたとはいえ、米が主食であることは今も昔も変わりません。また、生活習慣病や、自給率の問題、食育など、さまざまな面から、今、米を主とした日本の伝統的な食事が見直されているのです。食に関わる企業の姿勢が問われる昨今、国内最大の米流通量を誇り、「あかふじ米」でもお馴染みの株式会社 神明 常務取締役・品質管理部長の江川茂様は、日本の食を支える立場としての責任をはじめ、徹底した品質管理や安全対策、今後の展望などをお伺いしました。



Customers Information
* お客様訪問レポート *

美味しい米は徹底した生産ラインと生産者の心から

— 兵庫県下はもちろんのこと「あかふじ米」は、誰もが知っている米のブランドです。明治35年の創業から現在に至るまで、つねに米流通業界のトップを走り続けておられるタフな持久力の源は何ですか？

飛躍的に販売シェアが広がったのは、平成8年の食糧法制定による、米流通の規制緩和がきっかけです。それまでは兵庫県内だけに限られていましたが、次第に隣接県へと販路が広がり、その後の規制緩和によって全国へとシェアが広がったのです。

しかし、法的に認可されたとはいえ、それで販路が確保されたわけではありません。長年、全国の皆様のご支持をいただくためには、やはり「味」です。じつに基本的なことなのですが、毎日、食べる物だからこそ、どれだけおいしい米をコンスタントに提供できるかが大切であり、それが実行できた結果、全国の皆様のご支持がいただけたのだと自負しております。

— 消費者の方々に美味しいお米を提供するため、具体的にどのような取り組みをしておられるのですか？

つねに安定した美味しい米をお届けするためには、徹底した生産システムの管理と、日々の商品開発・研究は欠かせません。日本全国には、さまざまな銘柄米があり、味にもそれぞれ個性があります。それらを最大限に活かしながら、できるだけ新鮮なまま、精米することが重要なのです。

我が社では、入荷から出荷まで一貫した生産システムによって、よりスムーズで、クオリティの高い精米を実施しております。たとえば、コンピュータでの在庫管理・品質管理をはじめ、最新鋭精米機や製品自動ラック倉庫の導入、また製品はい付けのロボットパレタイザーは、業界最高速です。このようなFA設備の充実を図るまで、3~4年の月日

を費やしましたが、このシステムを24時間稼働させることによって、精米した商品をすぐ出荷でき、全国の消費者の皆様にお届けすることができるようになったのです。

— 「美味しいお米をつくる」ということで、工場へ入荷する前の段階、つまり生産地の管理や、お届けする側の精神面という点ではどのようにお考えですか？

米の出来具合を実際に見ることは、もちろん大切です。ぬきうち…というわけではありませんが、全国の生産地を巡回し、産地の設備や米の品質の検査は欠かせません。

また、最新の技術やノウハウだけではなく、「つくり手の思い」を抜きにして、良いものはできないと思っております。私たちがつねに心がけていますのは、自然を大切に、その恵みに感謝しながら「おいしいお米になあれ」という気持ちです。



ファイナルソーター (西宮浜工場)
さまざまな選別作業で除去できなかった異物を取り除き、最終仕上げをする最新の光学式選別機です。



無洗化米製造装置 (西宮浜工場)
洗わずに炊け、洗米排水を減少できる自然環境にやさしい商品を生産します。



サイロコントロール室 (西宮浜玄米サイロ)
入出荷作業はもちろん、在庫管理、品質管理などすべてコンピュータでチェックしています。

米とともに安心を食卓へ運び、信頼をいただく

— 近年、マスメディアでは食品のトラブルに関する報道が後を絶ちません。米は主食であるということで、消費者の方々も、品質管理については特に関心があると思うのですが、神明様では、どのような取り組みをされているのでしょうか？

2000年に発覚した大手乳製品メーカーの不祥事をはじめ、生産地の偽装や賞味期限の改ざんなど、食品のトラブルが次々と起こっています。消費者の方々の信頼を一度失ったら、それを回復するためにどれだけ大変か、いえ、回復できればまだ良いのですが、二度とできなくなる事もあります。



品質管理・安全対策は、食品メーカーにとって企業理念そのものだといっても過言ではない、そのような事から我が社では、徹底した安全対策を行っております。

まず、安全性の確保については、入荷から出荷の全工程における異物の抽出検査を徹底的に行うこと。ガラス選別機、金属選別機をはじめ、一粒一粒をCCDカメラで撮影し、夾雑物や色の付着した米を取り除くマジックソーターの導入。さらにどの工程でも除去できなかった異物は最終工程として、最新の光学式選別機で除去



DNA判定 品種特有のDNA配列を検出し品種を判定します。



食味鑑定機器 米の新鮮度(香り)、炊飯米の食味(外観)、ご飯の硬さ・粘り(食感)を測定し、総合的に判定します。



食味試験(官能検査) 炊飯米を試食し、ご飯の外観、香り、味、粘り、硬さを判定します。

するという徹底的なチェック機能を敷いております。

そして品質管理では、DNA判定における品種の解析から栄養素、鮮度、香り、炊飯米の試食にいたるまで、安定した美味しい米をご提供するために日夜、努力しております。

しかし、そういった工程も毎年、同じ対応ではなく、年々改善し、さらなる向上が大切です。

— そのような徹底した取り組みをされているからこそ、私たちは毎日、安心して美味しいご飯をいただくことができるのですね。

何事もそうですが、どれだけ配慮したとしても、何回もチェック機能を設けたとしても、完璧だということはありません。逆に、その安心感が気の緩みになり、危険を招くということもあり得るのです。

これは食品メーカーにかぎらず、

今はどの業界でもクレームは多くて当たり前という時代です。大切なのはそういった苦情や問い合わせをどのように捉えるかということです。

クレームをお客様からの大切な情報としてポジティブに捉え、情報開示や、それを糧にし、さらなる飛躍のためにどう活かすか。それともマイナス情報としてフォーカスせず、流してしまうか、その対応の仕方とどれほどの差が出るか、それは私たちが一番よくわかっております。

我が社では、トラブルを水際で防ぐ努力はもちろんのこと、もし予期せぬ問題が発生したとき、正しい対処法を取ることを心がけております。

米中心の日本食が世界的に注目を集める

— このような食の問題は、日本人の食生活やライフスタイルが変わったということも背景としてあるのでしょうか？

食に関して言えば、イギリスの家庭で50年前まで5時間かかって調理していた物が、現在ではたった8分で済むというデータがあります。日本でも同じだと思いますが、それが温めるだけのレンジ料理やインスタント食品、カット野菜や総菜などでしょう。



当社施工「株式会社神明 西宮浜北工場倉庫」
平成20年5月30日竣工。米を配送先等に仕分けし、
配送するための工場です。

このように家庭で時間短縮ができるようになった分、食品メーカーがそれを請け負っているのですから、メーカー側は大変です。

— ここ数年、日本古来のライフスタイルを見直そうという動きが高まっています。それを受けまして、国内外問わず、伝統的な日本食が注目されていますが、米の需要率にどのような変化がありましたか？

外食産業の米の消費につきましては、若干、減少しております。その反対に、ふりかけや佃煮がよく売れていることからもおわかりのように、一般家庭での消費は上昇傾向にあります。

その背景には日本の穀物自給率が40%を切ったこともあり、唯一、国産で賄える「米」に意識が戻っているのではないのでしょうか。また、生活習慣病も西洋化した食生活に原因があるといわれています。

ご飯食の復活とともに、家族で食卓を囲むという、昔ながらの家族団らんという光景も復活するといいいですね。今まではIT産業がもてはやされてきましたが、やはり生命活動の基本を支える、農業や漁業といった第一次産業が元気でないと人間のバランスは崩れていくものです。

米ネットワークを世界へ、そして自然保護へと

— 「食育」という言葉もありますように、食は肉体だけではなく、精神もつくるのだと思います。そういった面からも、これから米はとても重要な役割を担うのではないのでしょうか。では、最後に今後の展望についてお聞かせください。

これからの企業は、ただ物をつくるのではなく、それが「正しい作業」かどうかかが重要だと思います。「正しい作業」とは、目に見えるところはもちろん、見えない部分、つまり正しい心で行っているかということも含め、企業の体制そのものが問われているのだと思います。正しく行ってさえいれば、おのずと消費者の方々からの支持も得ることができますし、企業として成長していくはずですから。

また米を扱う者としては、日本が誇る米の美味しさを世界に向けて発信すること。そして未来を担う次世代のため、農業を活性化し、自給率を上げること、自然保護への貢献など、食卓に笑顔をお届けすると同時に、世界や地球が笑顔で包まれるように尽力したいと思います。

— ありがとうございました

商品(一部)



株式会社 神明
〒650-0023
神戸市中央区栄町通6-1-21
TEL.078-371-2131(代)
FAX.078-371-1238
http://www.akafuji.co.jp
事業内容：米・砂糖・雑穀・小麦粉
その他の食料卸売並びに加工

(株)神明マタイ	TEL.03-3666-5880
東京中央食糧(株)	TEL.03-3666-5141
(株)神明商事	TEL.078-992-9800
(株)増田製粉所	TEL.078-681-6701
(株)神明ロジスティクス	TEL.0798-26-9062
神明倉庫(株)	TEL.078-371-3811
海岸通・エレガノ神戸	TEL.078-371-3922

安全・環境・快適な カーライフを目指して

ブリヂストンリテール兵庫株式会社 代表取締役 **岩見 和幸** 様



グリーンとレッドというトレードカラーでおなじみの「タイヤ館」は、タイヤを中心にカー用品の販売やメンテナンスを行っているタイヤ専門店です。

全国で480店舗という地域密着型で、困ったらすぐに対処してくれる頼りになるカーライフのサポーター的存在として親しまれています。そして、それを支えるのは、なんといってもタイヤのプロともいべきスタッフの層の厚さです。ここ最近のガソリンや原材料の高騰で、いずれの業界も対策に迫られるなか、

直接、車社会に関わるタイヤ館では、どのような取り組みをされているのでしょうか。ブリヂストンリテール兵庫株式会社 代表取締役 岩見和幸様に、時代の流れに即し、しかもお客様にご満足いただくための店舗づくりについてお伺いしました。



3つの柱、高い技術力で快適なカーライフを実現

— 「タイヤ館」といいますと、従来のカー用品ショップに見られるハードな雰囲気と異なり、オープンで親しみやすいというイメージがあります。どのようなことをコンセプトに店舗づくりをされているのでしょうか？

私どもはタイヤやカー用品の販売だけではなく、それらを通じて「安全」「環境」「快適」という3つを柱としたカーライフをご提案させていただきます。

「安全」という面では、経験豊富なプロの技術スタッフがタイヤの点検をはじめ、オイル、バッテリーなど、ついつい見落としがちな部品のチェックを無料で行うこと。また「環境」面では、走行時の二酸化炭素排出量の削減に努めるため、省エネ対応の自社商品をご提案し、地球環境に積極的に寄与すること。そして、心を込めたスピーディーなメンテナンスによって「快適」なカーライフをお手伝いすること。

この3つを基本とし、それにプラスアルファ、時代に応じたサービスや特典の充実を図ることを視野に入れております。

— お客様に、快適なドライブをしていただくための、タイヤ館ならではのサービスやメンテナンスというと、どのようなものがありますか？

ひと言にタイヤのメンテナンスといっても、さまざま工程があります。なかでも、ブリヂストンの特許であり、安全性や快適性を高めるのが、タイヤが回転するときのプレを防ぐ「バランサー」、タイヤを均等にセンターに取り付けるための「センタリングマシン」、直進やカーブで安全走行をキープする「アライメント調整」（アライメントとは……わずかに数ミリの狂いでも4つのタイヤが正しく並んでいないと、タイヤは偏って摩耗します。すると、まっすぐに走っているのにハンドルが傾いたり、ブレたりして、事故の原因になりますので、定期的な調整は欠かせません。作業時間は45分）、これはタイヤの摩耗を軽減させる効果もあります。このような細かい作業をプロのスタッフが行うことによって、お客様に、より安全なカーライフを楽しんでいただけるよう、サポートしております。

本来なら「何故、このような作業が大切なのか」ということをご説明させていただきながら行うと良いのですが、スピーディーにすることを重点にしておりますので、なかなかセールストークには至っていないのが、今後の課題でしょうか。しかし、ウェイティングコーナーからは作

Customers
Information
* お客さま訪問レポート *

業風景をごらんになれますので、わからないことや疑問がございましたら、遠慮なく、スタッフにお尋ねください。

お客様のニーズに応じた店づくりとは

— 時代とともに、消費者のライフスタイルや要求が変化するのは当たり前だと思います。それに対応するため、企業側は日々、努力を重ねておられるのですが、こちらでは、ここ数年、店舗展開でどのような変化がありましたか？

従来はお客様の層が、20～35歳までの男性が主流でしたので、店づくりもハード面が中心で、趣味性の高いもの、マニアックな高額商品がメインでした。しかし、ここ近年では女性の方に親しまれる店舗づくりを強化しております。

現在、女性ドライバーは全体の約40%を占めていると言われてますし、日々の生活に車をご使用になられるのは、男性よりもむしろ女性の方が多いかもかもしれません。また、例えば女性には比較的機械に馴染みがない方が多いので、安全で安心なカーライフをプロの技術集団でサポートができれば、と考えております。

— たしかに街中を見渡すと、女性ドライバーはとても多いですね。その方々がママに車のメンテナンスをしているかという点、たしかに疑問です。では、女性にやさしい店舗づくりという点で、具体的にどのような提案をされているのですか？

ハード面からいえば、駐車場で誘導や清潔感のある店舗づくり、待ち時間にくつろいでいただくためのカフェスペースの設置などは必須です。また、まだ全店ではありませんが、小さなお子さま連れでも気軽にこ来店いただけるように「チャイルドコーナー」を設けております。

そのほか、毎週火曜日と日曜日のレディースデーではポイントが2倍ついたり、プレゼントを進呈させていただいたり……と、まずは足を運ん



当社施工
ブリヂストンタイヤ兵庫販売
株式会社・本社ビル

でいただくことを目標としております。あと、女性スタッフの採用ですね。やはりスタッフが女性ですと、相談もしやすいでしょうし、女性ならではの細やかな気配りが加わると、店のムードをガラッと変えるぐらいの効果があると思います。

— スタッフの人たちの技術の向上を推進するためには、どのようなことを行ってられますか？

全国規模で2カ月に1回、技能向上のためのコンテストを開催しておりますほか、メーカーへの工場見学、そして勉強会にいたっては、年に40～50回、店長やメンテナンスのクラス別に実施しております。車やタイヤはつねに進化し続けるものですから、それに対応するためには日々の情報収集や学ぶ姿勢が非常に重要になってきます。

また、接客マナーという点では、たしかにマニュアル的なものはありませんが、基本的なことを守っていれば、あまりそれに固執することはないと思っています。技術の向上と同じで、現場で経験を積めば積むほど自信がついてくるのと同時に、自然と身に付いてくるものです。

クレームに対する対応については、とにかくお客様の言われることに耳を傾け、聞く姿勢に徹することが大切だと考えています。最初の対応さえ間違わなければ、大きなトラブルにはならないと思います。

環境に配慮したエコタイヤの普及へ

— では、消費者の方にとっても関心の高い環境問題への取り組みはいかがですか？

省燃費のためにもタイヤ点検は欠かせないものです。たとえば、空気圧不足になると、タイヤの転がり抵抗が増えますので、燃費の低下と二酸化炭素排出量も多くなります。安全確保だけでなく、エコロジーの観点からも、タイヤの点検は欠かせないのです。

さらに、タイヤ館ではエコに特化したタイヤ「エコピア」をご提案しております。これはタイヤの転がり抵抗を軽減し、軽量化することによって、経済的、環境的にもすぐれたタイヤで、これからどんどん需要が増えると思われれます。

column

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿



法律改正の現状と余波、そして今後は？

レポート

私たち建設業や住宅産業を取り巻く環境は大きく変わりました。皆様の記憶にも新しいかと存じますが、本誌40号でご報告させていただきました「改正建築基準法」の導入です。施行後、一年が経ちましたが、現在の状況とその対応策、そして今後、さらに導入されると思われる法律についてご報告させていただきます。

改正建築基準法施行から1年……現状と対策

「改正建築基準法」が導入された事の発端は、元一級建築士の耐震偽装事件でした。この防止策として、建築確認申請の手続きが厳格化されたのです。

法改正により、従来の認可手続きに加え、国土交通省が定める「指定構造計算適合性判定機関（適判）」による審査を受ける事が義務づけられました。

それにより、偽装防止には一定の効果がある反面、建築の着工が軒並み遅れ、この事が裾野の広い建設業界を直撃することになりました。

施行から1年が経ち、混乱は沈静化したかのように見えますが、まだまだ問題点が多いのが現状です。

- 審査機関や担当者によって構造計算基準の内容や提出図書、計画変更の取り扱いにばらつきがあり、不明な点が多い
- 判定員の違いで作業量が異なる
- 申請、確認、審査まで時間がかかりすぎる

以上のことから、問題点は以前とさほど変わっていないことがわかりたいだけだと思います。この余波は建設業界、不動産業界、建材メーカー、金融関係などだけでなく、当然、お客様にも及びます。

費用面でも審査が必要以上に厳しくなった分、どうしても建設コスト増は避けられず、また、プランやデザインなどは、画一的で没个性的なものに流れてしまいがちです。



これは申請に通らなかった場合、見直しのための時間や費用といったリスクを考えると、どうしても無難なデザインになってしまう傾向にあるからです。

安全確保の論理だけが先行し、現場との大きな乖離が生じているこの状況では、創造の自由を規制していると言っても過言ではないでしょう。

そもそもこの法制度が「性善説」ではなく「性悪説」に基づいているという点に、大きな問題があると言わざるを得ません。

とはいうものの、当社としてはとにかくお客様に喜んでいただく事を第一と考え、法令遵守のもと、設計担当部門との打ち合わせをより一層密にし、申請がスムーズに運ぶように最善の努力をしております。

今後、さらに整備される建築、住宅の法律

改正建築基準法の混乱が冷めやらぬ中、次々と法改正、新法が施行されます。

まず、20年11月28日より施行される「改正建築士法」です。これも前述の事件で失墜した建築物の安全性、及び建築士制度に対する国民の信頼回復を目的とする改

正です。主な内容は、建築士の資質・能力の向上として、定期講習の受講義務付けや建築士試験の受験資格の見直し、専門能力を有する建築士による構造設計、及び設備設計の適正化や消費者への情報開示などとなります。

また、平成21年10月からは「住宅瑕疵担保履行法」が施行されます。平成12年4月に施行された「住宅品質確保法」に基づき、新築住宅については、売主、及び請負人に対し、主要構造部や漏水などに関して、10年間の瑕疵担保責任を負う事が義務付けられています。しかし、売主の財務状況によっては、その責任が果たされない場合もある事が明らかになりました。

解決策として、建築業者、宅建業者に「住宅建設瑕疵担保金の供託」または「住宅瑕疵担保責任の保険契約」が義務付けられる事になりました。これは、平成21年10月1日以降の引渡し住戸から適用される予定です。

これらは、消費者保護の観点で良法として法体制が整備されるわけですが、改正建基法と同じような混乱状態に陥らないか、業界は不安を拭いきれないのが現状です。



Information

ニュース

東山コーポが生まれ変わりました



「花コーポ神戸東山館」
建築主：神戸市住宅供給公社
設計・施工：清水・村上
特定建設工事共同企業体

本誌38号でご紹介した神戸市兵庫区の「東山コーポ」が、この度「花コーポ神戸東山館」として生まれ変わりました。

「東山コーポ」は震災により被災し、建て替えか補修かをめぐり、結論がなかなか出ませんでした。その結果、周囲が復興していく中、この建物だけが取り残されることになったのです。

当社は安全措置として足場を架設し、定期点検などを行って参りましたが、ようやく建て替えの方向で話がまとまり、清水建設・当社の企業体の設計・施工のもと、平成17年3月より解体をはじめ、平成20年3月に「花コーポ神戸東山館」として竣工しました。復興にかかった歳月は約13年。

関係者の方々のご努力に敬意を表します。



被災危険度チェック中の「東山コーポ」



株式会社村上工務店本社

おかげさまで 村上工務店創立60周年



当社は昭和21年に創業、昭和23年10月20日に創立して以来、本年で60周年を迎えることとなりました。これも一重に、当社をご支援、ご愛顧いただきました多くのお客様方のご厚情による賜物と、心より深く感謝いたします。
この場をお借りいたしまして私たちどもを支えていただいたお客様へ感謝の意と、さらなる飛躍を目指すための決意を新たに致しました。

新たな一歩も 「信頼」の積み重ねから

住宅建設業界における60年の歩みは、社会情勢を反映し、日本の現代史を彷彿とさせます。

我が国の住宅事情は、戦後の物資の少ない中で建てた応急住宅に始まり、公営・公団住宅という集合型住居を経て、民間によるマンションや戸建てへと変革を遂げました。もちろん、それは人々の価値観やライフスタイル、そして経済の発展に裏打ちされたものであり、その中で住まいの変遷は、まさに現代日本の生活史ともいえるのではないのでしょうか。

創立以来、当社はお客様に信頼される事を第一と考えてまいりました。その中で時代がどんなに変わろうとも、「信頼」というものほど大切で、一朝一夕には獲得できないものだという事を改めて実感いたしました。

このたび、この60周年という節目に際し、「信頼」の大切さと重みを再確認する機会をいただきました。建物でも基礎がもっとも大事であるように、原点を見失わず、足元をきちんと固める事が、今後の歩みにおいても最も大切であると感じています。

現在の取り組みは 「3つの優しい」がキーワード

現在、当社では「古いものを大切に」「新しいものへの挑戦」「パートナーシップを築く」という、環境・生活・心に優しい3つのコンセプトのもと、事業活動を行っております。

「古いものを大切に」

当社では数年前より「リノベーション部」を創設し、マンションの大規模改修や住宅のリフォームをはじめ、企業の事務所や倉庫、店舗の改修提案など、建物を単に元に戻すだけでなく、新たな機能とデザインを加え、より快適な空間へと蘇らせるサービスをご提案させていただいております。

「新しいものへの挑戦」

外断熱工法を採用したマンションの施工や、DIYオンラインショップ「ルームキット」の開設、北欧の壁紙をはじめ輸入建材の販売など、新しい技術や分野にも積極的にチャレンジしております。

「パートナーシップを築く」

当社が最も大切だと考えるものが、この「パートナーシップ」です。お客様はもちろん、協力業者の方々とは仕事を通じ、また地域の方とは、献血運動やチャリティーバザーなどを通じて、地域社会への貢献により、友好的な信頼関係を築く事が、当社の基盤だと考えております。

創立百周年に向けた決意と 今後の展望

以上のように、時代の変遷とともに、私たちを取り巻く状況はつねに変化します。しかし、それは今に始まったことではなく、戦後から現代まで、この60年間は、思えば激動の時代でした。そのなかでも、企業の正しい在り方は、今も昔も変わりはないと思います。

- 常に感謝の念をもち、まごころと誠意をもって貢献すること。
- 時代の流れの中で、お客様が何を求めておられるのか、常に「洞察力」と「観察力」を磨くこと。
- お客様に満足いただく「質の良いもの」を提案・提供すること。
- 現状に甘んじることなく、常に研究を重ね、より良いものを生み出す努力を惜しまないこと。
- 現在だけではなく、未来を見据え、次世代に繋ぐ意識をもつこと。

日々移りゆく時代の中で、このような事は私たちの根幹であり、それは今後も何ら変わりはありません。

これから先、かつて例がないような問題も多く待ち受けている事と思います。少子高齢化による労働力の問題や地球温暖化問題などは最たるもので、これらは地球規模で

の深刻な問題です。

もちろんこれらは、建設業界にも深く関係しております。その中で職方を希望する若者の減少は、業界の大きな問題だと言えます。建設業は、今なお、人力に頼る部分が多く、過酷な仕事だというイメージが若者の職人離れに繋がっているのですが、職人の為す「匠」の技なくしては、建物が完成することはありません。

環境問題に関しても、今日では、環境負荷が少ない建材の開発や産業廃棄物の分別処理など、環境に優しい建設業へと変貌しつつありますが、それでもまだまだ道半ばです。

これらの問題を次世代に先送りにせず、私たち一人一人が解決に向け、努力する事は、当然の責務です。そして後世にわたり、平和な地球の持続を切に願うなら、まずは、出来る事から確実に実行するのが重要だと考えております。

「当たり前」の事を当たり前にする。これは、「簡単な事こそ難しい」を意味するのかもしれませんが、今、実行しなければ、地球も社会も存続が難しいのではないのでしょうか。

私たちは、この60周年を「頂いたご縁」への感謝の機会として捉え、「まごころ」と「信頼」を基とし、建築を通じてお客様、そして社会に貢献してまいりたいと考えております。

これからも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

Information 大臣表彰を受ける

社内ニュース

さる7月10日、皆様のご支援のおかげで、弊社社長は、東京霞ヶ関の国土交通省において、大臣表彰を受けました。これは、「多年にわたる建設事業の振興と公共の福祉の増進に貢献した」事が認められたもので、社員一同、大変喜んでおります。

今後も社員一丸となって日々努力していかねばならないと決意を新たにいたしております。改めて皆様に感謝、御礼申し上げます。



北欧のやさしい色彩が織りなすアート
スウェーデンの輸入壁紙「デコールメゾン」



New collection!



デコールメゾンは、テキスタイルで有名な町ブローズから生み出された壁紙。
北欧デザイナーの力が、デコールメゾンのデコラティブなデザインに反映されています。
部屋や店舗全体を美しく飾るほか、近年のスウェーデンでは、壁の一面だけをデコラティブに
演出する方法に注目が集まっています。

村上工務店ではスウェーデンよりデコールメゾンの壁紙を輸入、販売しています。
(ホルムアルデヒド発散等級F☆☆☆☆、および不燃材料としての大証認定を取得。)

お問い合わせは 村上工務店・開発室 TEL.078-515-2332 まで。

DecorMaison
TAPETDESIGN

▼最新パンフレットをご用意しています
<http://www.decormaison.jp>



株式会社 村上工務店

神戸市兵庫区三川口町2-4-8 TEL.078(577)2031(代) FAX.078(576)3773

ホームページからも様々な情報をご覧いただけます。

<http://www.murakami-gc.co.jp> E-Mail info@murakami-gc.co.jp

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】 個人情報に関するお問合せ窓口 個人情報に関する苦情、開示、訂正、利用停止等を下記窓口にて承っております。
株式会社 村上工務店 営業部 〒652-0815 神戸市兵庫区三川口町2丁目4番8号 TEL.078-577-2031 FAX.078-576-3773 E-mail:info@murakami-gc.co.jp
詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.murakami-gc.co.jp>